

# 平和祈念財団 だより

第 14 号



## 平和祈念公園を彩る花々

みなさん「平和祈念公園」に、どのようなイメージをお持ちでしょうか？

沖縄戦の戦没者を追悼し、戦争の実相を伝える場所であることから、「悲しい」や「寂しい」など、どちらかと言えば、暗いイメージを思い浮かべる方が多いでしょうか。

そのような中、来園者を癒してくれる存在が、公園内に咲く花々です。上の写真は、公園南側の「すこやか広場」にある「トックリキワタ」の花々です。

「南米さくら」とも呼ばれるこの「トックリキワタ」は、『沖縄大百科事典』によると、「南米原産。沖縄には戦後、ブラジル、サンパウロから種子で多数導入される。（中略）幹に刺（とげ）があり、徳利（とっくり）状になっていることからこの名がある。花にも濃桃色から乳白色のものまで変異が多い。」とのこと。

10～12月は、各都道府県による慰霊祭や追悼式が多く催される時期でもあります。「トックリキワタ」のホワイトや淡いピンクの花々が、今日も来園者の心に「安らぎ」を与えてくれています。



【撮影日】11月22日